

融着レス接合で給水・給湯配管の プレハブ化で省力化・工期短縮を

融着レスプレハブ配管システムは、軽量で耐熱性や柔軟性に優れたポリブテンパイプと熱融着継手（H種継手）にて構成された下記に示すプレハブユニットを、施工現場にてハウジング継手を用いて接続していくシステムです。

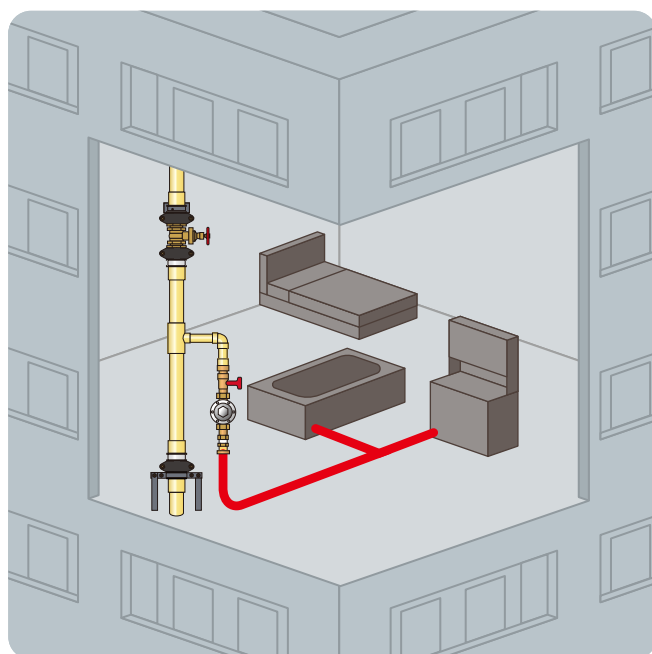
従来の工法（電気融着）と比較すると施工が簡略化される為、工期短縮が可能になります。

配管は弊社工場で作成するプレハブ配管となっていますので、品質面においても安心して頂けます。

また、ポリブテン管は給湯循環配管において主流であるステンレス管と比較してもコスト面においても安価で、塩化物イオンにも強い事から現在注目を浴びている製品です。



循環配管に新提案!



組立をスピードアップ! 実現!!

給水・給湯用ポリブテンパイプ
融着レスプレハブ配管システム

融着レス接合を実現!!
従来工法(電気融着)と比較し
施工時間が約1/4に!

プレハブ化で
省力化・工期短縮

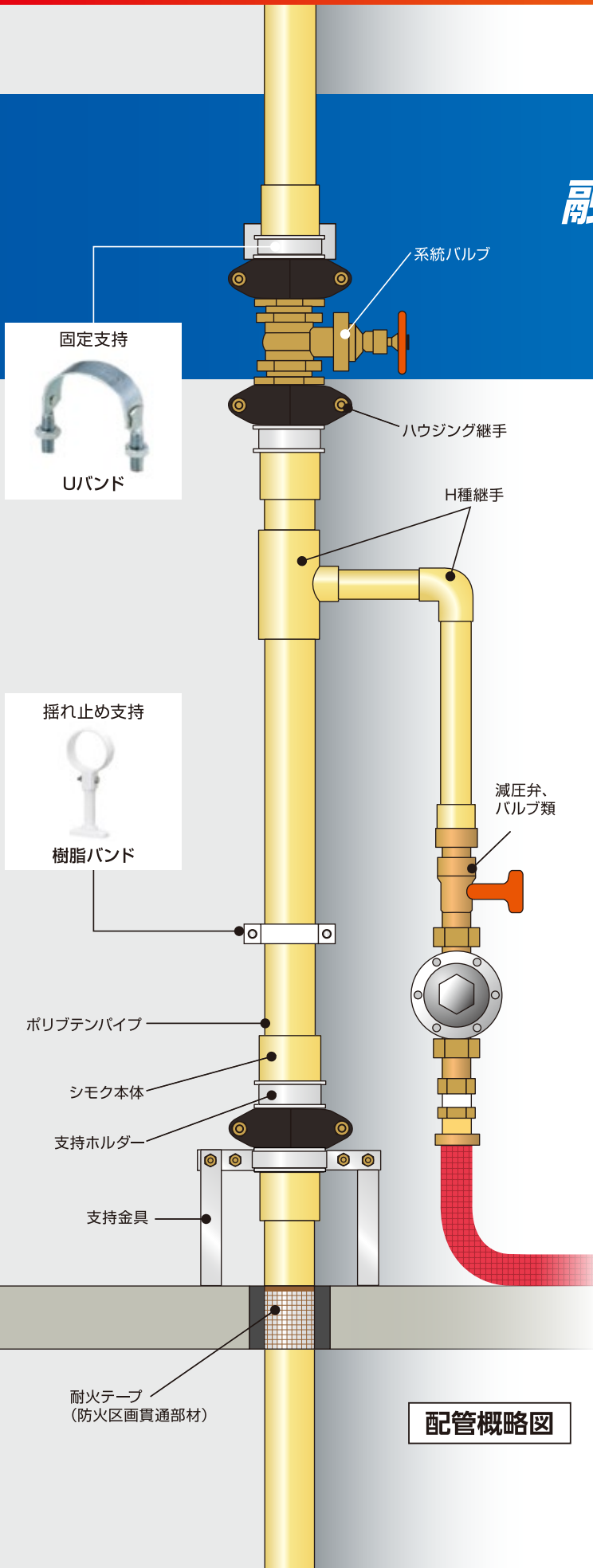


City Hotel

Hospital

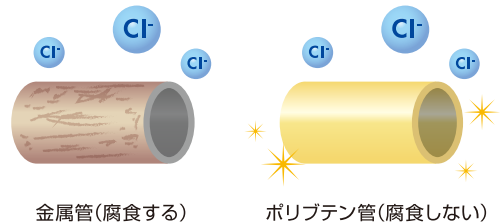


融着レスプレハブ配管 システムの優れた特徴



1 腐食しない

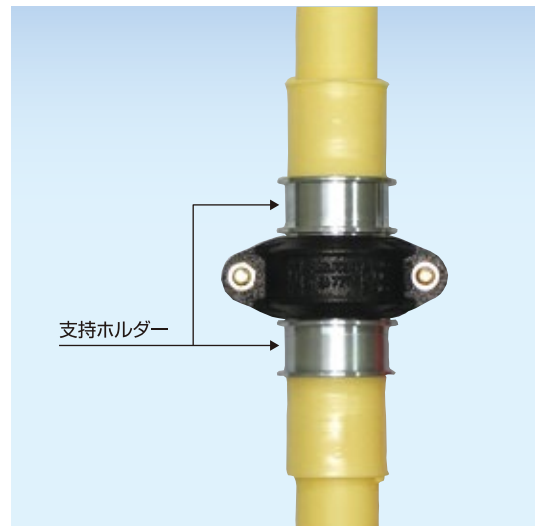
ポリブテンパイプは腐食の心配がなく、経年変化による通水(湯)流量の低下がありません。又、ステンレス配管にて腐食を誘発する塩化物イオンの影響をほぼ受けません。ハウジング継手も接水(湯)部は耐塩素EPDMガスケットのみであり、金属部の腐食の心配がありません。



4 管の破損を防止

金属製の支持ホルダーをUバンドにて固定支持できる為、ポリブテンパイプを直接固定支持する必要がなく、ポリブテンパイプ固定支持時に生じる支持金物の過剰締付による管の変形、損傷を防止できます。

※支持ホルダーに使用する支持金具は、ご使用するポリブテン管の1サイズアップのものを御使用ください。



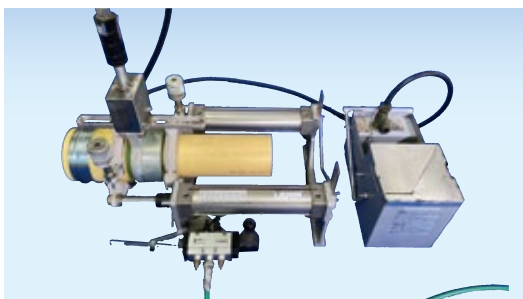
融着レスプレハブ配管システムは、プレハブユニット同士をハウジング継手で接合するシステムとなっております。プレハブユニットは金属製の支持ホルダーをインサート成形した『ハウジング用シモク』とポリブテン管を熱融着接合したものです。熱融着接合は弊社プレハブ加工工場にて行いますので、施工現場ではハウジング継手によるプレハブユニット同士の

接続と配管の支持固定作業のみとなり、**工事の省力化、施工時間の短縮化**が図れます。

ポリブテン管は熱伝導率がステンレス鋼管の約1/80と低く、給湯循環時の放熱ロスが抑えられます。又、70°Cの給湯循環時でも管表面温度は60°C以下となる為、裸管配管時でも配管との接触による火傷の心配がなく、ホテル、病院などの給水・給湯用配管にご使用頂けます。

2 安心できる施工品質

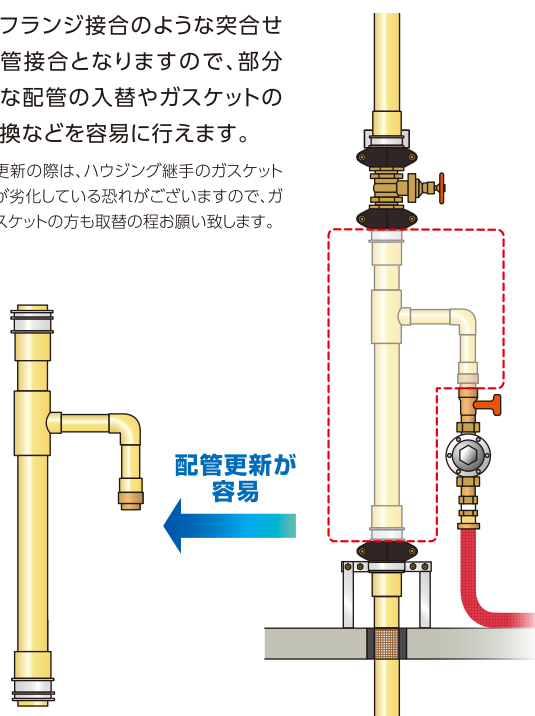
プレハブユニットは品質に個人差の出難い工場製作となりますので、融着部の施工品質の均一化と向上が図れます。(弊社はISO9001マネジメントシステム取得工場です。)



5 配管の更新が容易

融着レスプレハブ配管システムはフランジ接合のような突合せ配管接合となりますので、部分的な配管の入替やガスケットの交換などを容易に行えます。

※更新の際は、ハウジング継手のガスケットが劣化している恐れがございますので、ガスケットの方も取替の程お願い致します。



3 スピーディーな施工性

施工現場ではハウジング継手によるプレハブユニット同士の接続と配管の支持固定作業のみとなる為、施工時間は現地融着接続と比較して約1/4に短縮可能です。又、施工後の養生(冷却)も不要である為、施工後すぐに水圧テストを行うことが可能です。

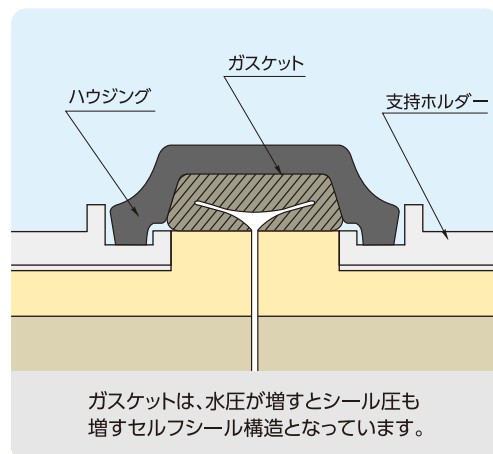
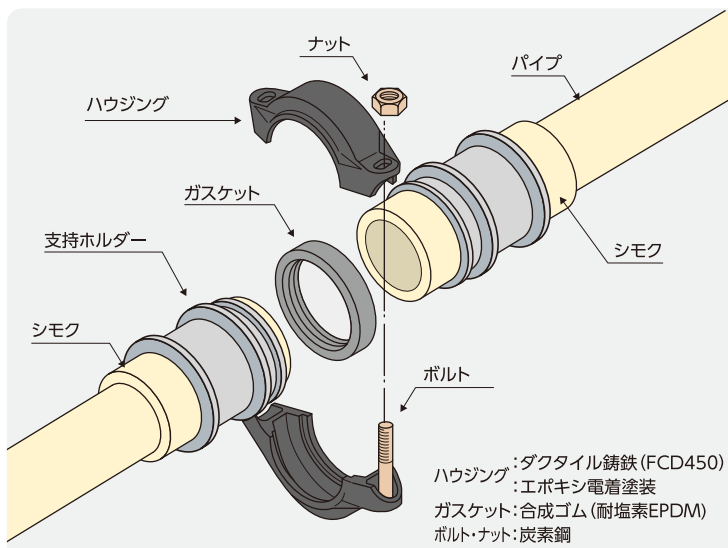


6 環境負荷軽減

工場でのプレハブユニット製作により現地での廃材(端尺管)の発生を抑えられます。又、ポリブテンパイプは環境に優しい材料であり、廃材からはダイオキシン等の有害物質は出ません。



接続部の構造



仕様・適用範囲

●用途 給水・給湯配管、冷温水配管、冷却水配管

●規格 管 :ポリブテン管 JIS K 6778 J種
継手:ポリブテン管継手 JIS K 6779
(一部継手及び室内用被覆ポリブテン管を除く)

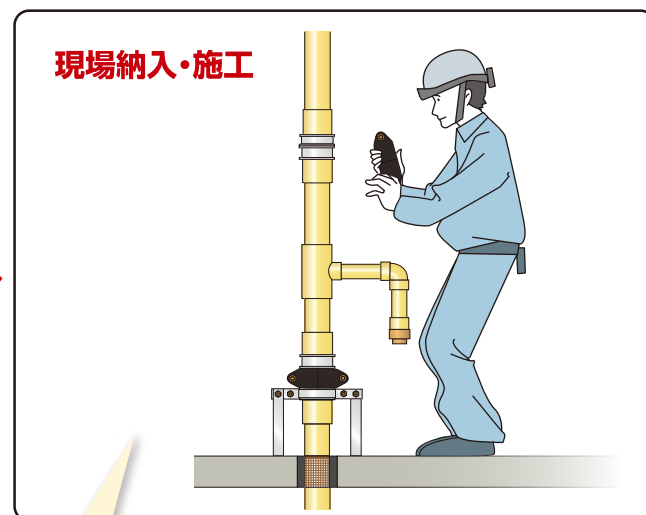
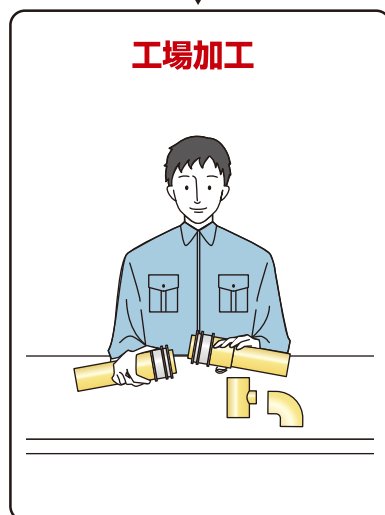
ストレートタイプ



ねじタイプ



現場への納入までの流れ



ハウジング接合

ガスケットを挿入しながらシモク端部を突き合わせ、支持ホルダーのグループ（溝）にハウジングを装着後、ボルト・ナットを締め付けます。

